

竹の内処分場及び周辺の水中ダイオキシン類調査結果について

今年度も継続して実施した、竹の内処分場放流水及び周辺地下水（下流側）の定点調査結果をお知らせします。

1 調査方法

- (1) 試料の採取 第1回：平成17年 9月28日
 第2回：平成18年 2月 8日
- (2) 調査対象地点 処分場東側側溝末端 （放流水）
 処分場周辺下流側観測井（地下水）
- (3) 分析項目 試料水中のダイオキシン類濃度

2 分析結果

上記調査地点で調査したところ、何れの調査においても、地下水にかかる環境基準値(1pg-TEQ/L)及び放流水にかかる基準値(10pg-TEQ/L)を下回っていました。

ここで、下流側の地下水観測井では、たまっている水が少なく、本来分析に必要な試料の量が確保されなかったため定量下限が上がってしまい、その結果として見かけ上、検査結果が高くなっている可能性があります。

3 今後の対応

これまでの検出状況等も考慮し、必要に応じてモニタリング計画の見直しも行いながら、今後も定期的な調査を行う予定です。

特に、下流側周辺地下水観測地点については、採取できる水の量が少ないことから、調査地点の設定も含めて検討を行う予定です。